

(論 文 要 旨)

2014 年度

指導教授；小林 洋一教授(2012 年度まで)
須藤伊知郎教授(2013 年度より)

題目 第一イザヤにおける聖・義・知恵

Holiness, Righteousness, and Wisdom in the First Isaiah

所 属；西南学院大学 大学院
神学 研究科 神学専攻
在学番号；1 0 D G 0 0 1 (博士 後期 課程)
1 1 R D 0 1 1 (研究生 2010 年度)
1 2 R D 0 0 6 (研究生 2011 年度)
氏 名；日 原 広 志
Hiroshi HIHARA

研究の目的

本論文は第一イザヤ(イザヤ書 1-39 章)における聖と義と知恵の関連について考察するものである。第一イザヤには「聖」(語根שקד)関連語が 30、「義」(語根צדק)関連語が 28、「知恵」(語根חכם、בין、יעץ、ידע、הוי、אוי)関連語が 107 登場する。これら術語が聖・義・知恵各 1 つずつ 3 概念共に揃う章節は第一イザヤにはない。その為に第一イザヤにおける聖・義・知恵は主要な概念としてそれぞれ独立して扱われることはあっても、3 概念の相互の連関を問う研究は行われて来なかったのである。しかし、節においては事例がなくとも、同一単元(断片)という括りで見ると、聖と義と知恵のいずれか 2 ないし 3 概念が並立・鼎立するケースは散見されるのである。聖と義と知恵は、預言者イザヤにとってどのような意味を持ち、互いに関係づけられていたのか。そして後代の付加部分が第一イザヤに加えられるにあたって、これらの関係性はどのように受容・継承・再解釈されていったか。それらを検証することが本論文の目的である。

各章の内容

本論文の構成としては、序を別にして 4 章構成となる。序の(1)は研究の目的と方法である。序の(2)は本論のための事前準備として扱う術語、章節、分布、単元調査、各章で扱う単元について説明している。本論 1 章において第一イザヤにおける聖・義・知恵の研究史をそれぞれ個別に概観し、今日的課題を抽出する。次に積義的検討であるが、2 章においてはヴィルトベルガーの区分に従い、預言者イザヤに帰し得る部分に関して各術語の当該節、単元

における意義と機能を歴史的批評的に考察する。3章においては後代の付加部分に関して同様の積義的考察を行う。最後に4章においては同一単元に聖・義・知恵全てを含む重要な章句を真正(11:1-9)、後代(29:17-24)各1単元ずつ扱い、前二章の成果も踏まえつつ、第一イザヤにおける聖・義・知恵の連関性について明らかにすることを試みた。

結論

イザヤの預言に特徴的なことの中に、既存の伝承財から新しい意味づけを与えて再利用するという傾向が見られる。(ツェデクの語、ツェデクの属性としての「自然への変容力」「動物の平和の表象」のメシア預言への適用、神名「万軍の主」や「イスラエルの聖なる方」等)。今回研究を通じて、それが召命時における聖体験と密接に関連していることを確認できた。ヤハウエの聖別はこの世の只中に神が介入して生起させる「分離」「隔絶」の瞬間である。事物の本質を見極めその真髄を開示するというイザヤ預言の自由さの中には、神の聖性との出会いが大きく影響していると考えられるのである。この現実の事物や事象に対してあるがままに色をつけずに観察、凝視、省察し、当たり前前の理法、摂理を見出していくという運動は、まさに知恵の本質でもある。その意味でイザヤの知恵への熟達ぶりは、やはり召命の原体験とは切り離せないものと思われる。

イザヤがヘンダイアディスやそれに類する形で、「ミシュパート&ツェダカー」「ホフマー&ビーナー」「エーツァー&ゲブラー」「ダアト&イルアト・アドナイ」「ツェデク&ミーショール」「ツェデク&エムナー」のように二つのものをつなぐ語法を大切にされたのも、聖の持つ分離が、分断、孤立、遁走の自由を意味しないという原体験と、諸々の美德が林立する下で不正義が進行し無関心が蔓延するという社会矛盾の現実と直面する中で選び取られたものである。

イザヤにとってツェデク/ツェダカーは“関係性抜きに適/不適のみを評価する道具”では決してあり得なかった。この故にミシュパート、ネエマナー、エムナー、ミショール等と結びつけられて力を発揮できたのである。知恵についても同様で、イザヤにおいて知恵もまた関係性の中での人間実存の成長変化と共に捉えられた。同時代の知者達は既知の常識や神理解に留まりつつイザヤの使信を封じ込めようとしたので、イザヤと彼らが正面衝突に至ったのは必然であった。

真正預言11章1-9節では「聖→知恵→義→知恵→聖」型の連関が、後代の付加29章17-24節では「知恵→聖→義→聖→知恵」型の連関が確認できた。後代においては知恵が文脈の無時間化、聞き手の拡大に貢献した。特に義人ツァディークを中心軸とした聖・義・知恵のキアスムス構造は信仰共同体への励ましとして有効に機能した。

参考文献(一部)

Bazak, Jacob. "On the Meaning of the Pair mishpat usedaqah ("Justice and Righteousness") in the Bible." *Beth Mikra 32(109)* (1987), pp.135-148.

- Blenkinsopp, Joseph. *Opening the Sealed Book: Interpretations of the Book of Isaiah in Late Antiquity*. Grand Rapids, Mich.: William B. Eerdmans, 2006.
- Crüsemann, Frank. “Jahwes Gerechtigkeit (sedāqā/sādāq) im Alten Testament.” *Evangelische Theologie* 36 (1976), pp.427-450.
- Ho, Ahuva. *Sedeq and Sedaqah in the Hebrew Bible*. New York: Peter Lang, 1991.
- 小林洋一「箴言におけるツエデク／ツエダカー／ツァディーク—新共同訳訳語の批判的検討—(上)」『西南学院大学神学論集』第62巻第1号(2005.3), 1-36頁。
- Levine, Baruch A. “The Language of Holiness: Perceptions of the Sacred in the Hebrew Bible.” Eds. Michael P. O’Connor and D. N. Freedman. *Backgrounds for the Bible*. Winona Lake, Ind.: Eisenbrauns, 1987, pp.241-255.
- O’Kane, Martin. “Wisdom Influence in First Isaiah.” ed. Kevin J. Cathcart. *Proceedings of the Irish Biblical Association* 14 (1991), pp.64-78.
- 大島力「預言者における未来確信と現実批判」『古代イスラエル預言者の思想的世界』(金井美彦、月本昭男、山我哲雄編) 新教出版社, 1997, 176-198頁。
- Rendtorff, Rolf. “Zur Komposition des Buches Jesaja.” *Vetus Testamentum* 34(3) (1984), pp.295-320.
- Schmid, H. H. *Gerechtigkeit als Weltordnung: Hintergrund und Geschichte des alttestamentlichen Gerechtigkeitsbegriffes*. Tübingen: J.C.B.Mohr, 1968.
- 関根清三訳『旧約聖書Ⅶ イザヤ書』岩波書店, 1997.
- Weinfeld, Moshe. “Justice and Righteousness—הַצְדִּיקוּת וְהַיְשׁוּבוּת—The Expression and its Meaning.” ed. Henning Graf Reventlow and Yair Hoffman. *Justice and Righteousness: Biblical Themes and Their Influence*. Sheffield: JSOT Press, 1992, pp.228-246.
- Whedbee, J. William. *Isaiah & Wisdom*. Nashville: Abingdon Press, 1971.
- Wildberger, H. *Jesaja*. BKAT10/1-3. Neukirchen-Vluyn: Neukirchener Verlag, 1980-82.
- H・ヴィルトベルガー(大島力・金井美彦訳)『神の王的支配—イザヤ書 1～39章—』教文館, 1998.
- Williamson, Hugh Godfrey Maturin. “Isaiah and the Holy One of Israel.” ed. Ada Rapoport-Albert and Gillian Greenberg. *Biblical Hebrews, Biblical Texts: Essays in Memory of Michael P. Weitzman*. Sheffield: Sheffield Academic Press, 2001, pp.22-38.
- . “Isaiah and the Wise.” Eds. J. Day, R. P. Gordon and H. G. M. Williamson. *Wisdom in Ancient Israel: Essays in Honour of J. A. Emerton*. Cambridge Univ. Press, 1995, pp.133-141.

(以上)